

ご挨拶

- ①出身地 ②研究内容
③趣味 ④好きな言葉



就任のご挨拶

三井 伸二 大学院医系科学研究科 医学分野 分子病理学 教授

- ①広島県 ②病理組織学的解析を中心とした腫瘍病理学・間質病理学 ③サッカー観戦、映画鑑賞 ④過ちて改めざる、これを過ちという

2024年11月1日付けで分子病理学の教授を拝命いたしました、三井（みい）伸二と申します。

私は広島市出身で、2005年に名古屋大学 医学部を卒業し、臨床研修修了後に大学院へ入学、実験病理学の道へと進みました。これまで私は、がん促進性タンパク質であるCD109という分子に着目したがん研究を一貫して行い、遺伝子改変マウスを用いたがんの発症・増悪メカニズムの解析を行って参りました。さらに、これまで培った病理組織学的手法を活用することで、がんと間質の相互作用に着目した間質病理学的な研究を行っております。

今後も引き続き、教育・研究・診療活動に邁進したいと考えております。病理学は臓器横断的の学問であり、様々な領域との親和性がございますので、何かお役に立てることがございましたらお気軽にお声がけ頂ければ幸いです。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



就任のご挨拶

森脇 健太 大学院医系科学研究科 医学分野 医化学 教授

- ①大阪府 ②細胞死、ネクロシス、細胞膜傷害、がん、炎症性疾患 ③野球（観るのも、プレイするのも。少年野球なら審判できます。） ④コントロールできることに集中する

2024年12月1日付けで、大学院医系科学研究科 医化学の教授を拝命いたしました森脇 健太と申します。私は2004年に大阪大学 医学部保健学科 検査技術科学専攻を卒業後、同大学院医学系研究科 生化学・分子生化学講座にて基礎医学研究のトレーニングを受け、2010年に博士の学位を取得しました。学位取得後、米国マサチューセッツ州立大学、大阪大学、東邦大学を経て、本学に着任いたしました。

私は、細胞の生死がどのように決定づけられるのか、死を迫られた細胞がどのように振る舞い、周囲にどのような影響を与えるのかという点に着目し、その分子機構を解明することで生体恒常性維持機構と炎症性疾患やがんの病態の理解、また新たな治療法の開発を目指しています。世界をリードする研究成果を広島大学から発信し、国際的に活躍できる次世代の人材を育成すべく尽力していく所存です。皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。